

「資本コストや株価を意識した経営の実現」 に向けた取り組み状況

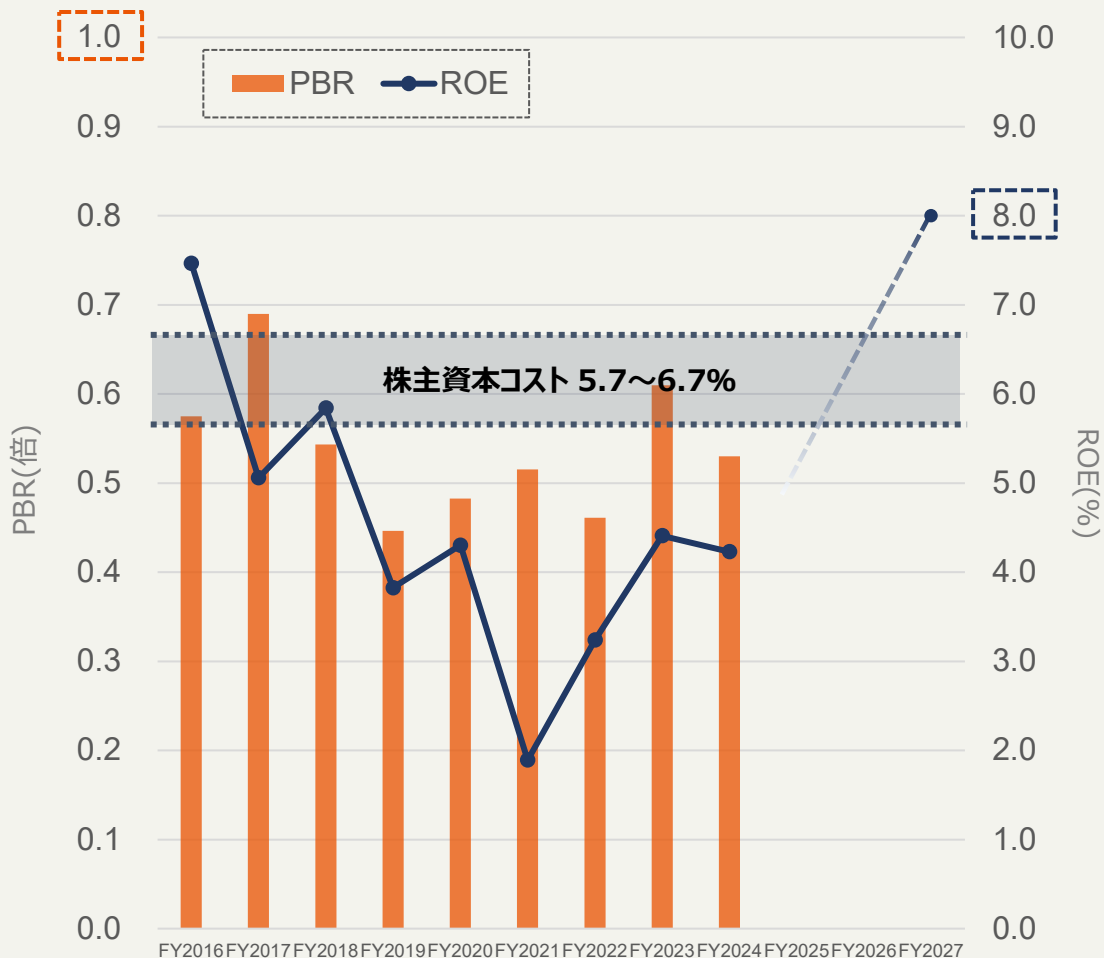
2025年5月12日
株式会社 東京エネシス



株式会社 東京エネシス

現状分析・評価

当社のPBR・ROE推移



現状評価

- 中計策定時は株主資本コストを5.0～6.0%と認識していたが、最新の複数金融機関の算定結果や機関投資家からの意見を考慮し、5.7～6.7%に変更
- 収益源の多様化に向け、一般産業・その他市場を中心に受注拡大を図ることができたが、2024年度の売上に貢献する工事が少なく、売上高の減少に伴い利益も減少し、依然としてROEは株主資本コストを下回っている状況
- IR面談においても、利益水準が株主資本コストを下回っていることを指摘され、経営計画のレビューが必要
- 当社決算の下方修正、日経平均全体の低下等から、前期末比で時価総額が減少
- 受注・売上の拡大とともに利益率・利益金額の向上が喫緊の課題であると認識

改善に向けた方針

- **ROE改善**
 - 市場分析をアップデートし、事業ポートフォリオの最適化として、**変電分野、原子力分野、水力分野**へこれまで以上に注力
 - 人的資本の強化による必要利益の獲得と自己資本の最適化により、**2027年度ROE 8.0%達成**を目指す
- **PBR改善**
 - 当社事業の現状・将来性を積極的に**発信**するとともに、ステークホルダーとの積極的な**対話**を実践することで理解促進を図る
 - 資本構成・資本コストを意識した**株主還元策**の実践

PBR改善にむけた取り組み

PBR 1倍以上へ

ROE 向上		収益力の強化 資本構成の最適化	2024年度の取り組み実績
2024年度中計における事業戦略の実践	成長事業への投資	当社出資の3バイオマス発電所が営業運転開始	
	事業ポートフォリオの変革による収益改善	「一般産業・その他市場」「再生可能エネルギー関連市場」の売上比率が拡大し、収益源の多様化が進む	
	事業拡大に向けた営業力強化	全国で新規顧客を獲得するため、6支店新設	
最適な資本構成・資本コストを意識した株主還元	累進的配当の継続実施	2023年度配当45円⇒2024年度配当52円	
	自己株式取得の機動的な実施	2025年2月17日自己株式取得 199,000株	
ステークホルダーの理解醸成へ向けたIR活動の充実	市場に対する積極的な情報開示による当社事業への理解促進	「機関投資家からのコンタクトを希望する企業」としてエントリー	
	ステークホルダーとの積極的な対話の取り組みを充実	IR面談を45回実施	
	対話で出された意見等を経営戦略のレビュー等へ活用	IR面談内容の取締役会への共有と2025年度経営計画への反映	
株主資本コスト 低減	株価のボラティリティ低減 成長期待の醸成		